

## フレンドシップ2019

パサディナで、国際交流！



姉妹都市のアメリカ・カリフォルニア州パサディナ市へ、青少年交流事業・フレンドシップ2019の参加中高生11名と引率2名（7月30日～8月7日）、夏期派遣研修生1名（同～8月23日）が訪問し、暑い・熱い交流を楽しみました。フレンドシップ参加生徒たちは、ほとんどが海外経験が初めてで、まずは、道路の広さやハンバーガーの大きさなど、アメリカのでっかさにびっくりしたようです。最初のうちはおっかなびっくりの英語でしたが、ホストファミリーや現地の方々のフレンドリーでやさしい対応に助けられて徐々に慣れてきて、英語で話すことの楽しさ、伝わった時の喜びなどを体験できました。期間中は、UCLA、グリフィス天文台、カリフォルニア科学センター、戦艦アイオワ、ローズボウルスタジアムの見学や、ドジャースタジアムでの大リーグ観戦、ディズニelandなど、楽しい行事もいっぱいでした。全米日系人博物館では、戦時中に日系人がアメ

リカ国籍を持っていたとしても強制収容所へ送還されたという事実を目の当たりにして、とても勉強になりました。ホストファミリーと過ごした時間は、そのやさしさ、温かさ、オープンで陽気な性格に触れて、特に素晴らしい思い出となったようです。たった1週間でしたが、その間に生徒たちは、めざましい成長を遂げたようです。

### 参加者（敬称略）

遠藤 樹奈(山田中 2年)	下山 愛莉(錦田中 3年)
中達 朝花(北上中 2年)	野中 咲智(錦田中 3年)
藤野 真衣(北中 2年)	山中 健裕(山田中 3年)
秋山 亮太(韭山高 2年)	阿部 萌菜(伊豆中央高 2年)
柿島 愛(伊豆中央高 2年)	高田 桃衣(伊豆中央高 2年)
宮下 桃華(桐陽高 2年)	

《夏期派遣研修生》芦江 明日香(日本大学国際関係学部 4年)  
《指導員》鈴村 武仁(福祉総務課) 岩崎 李寧(国際交流室)



# 麗水市花園中学校 訪問団来島

7月10日～14日



三島市の友好都市、中国浙江省麗水市の花園中学校から生徒12名、引率教師1名、通訳1名が7月10日～14日にかけて三島市を訪れました。

11日は、北上中学校を訪問、理科の実験の授業へ参加したり、給食を食べたり、日本の学校を体験しました。花園中学の図書室は勉強に関する本しか置いていませんが、こちらではマンガコーナーがあるのに驚いていました。その後、スカイウォーク（あいにくの雨模様）へ行った後、市長を表敬訪問しました。市長表敬では、ほぼ全員が活発に質問していました。



12日は、そば打ち体験の後、富士山五合目に行きました。

13日は、ホストファミリーと楽しい時間を過ごし、夕刻からMIRA主催の送別会が行われました。

送別会では花園中生が歌や踊り、ヴァイオリンの演奏などを披露してくれました。

そしてホストファミリーと過ごした楽しい思い出を、それぞれの家族の皆さんと共に発表しました。

翌日14日の早朝、楽しい思い出と共に三島を後にしました。





# 麗水市介護福祉視察団受入事業

2019年7月25日～26日



「サンリッチ三島」にて

中国人民政治協商会議麗水市委員会提案委員会主任の熊佩飛団長率いる一行8人が福祉と介護の視察のために三島市を訪れました。一行は行政部門、教育部門、民間施設の関係者で構成され、三島市介護保険課、地域包括ケア推進課から三島市の取り組みについての説明を受け、翌日には「サンリッチ三島」を訪問視察しました。



7月25日の午後に三島入りし、三島市介護保険課、地域包括ケア推進課の協力で、西川介護保険課長から日本の介護保険制度や今後の国の方向性、三島市の現状と取り組みなどについて説明を受けました。

中国では、少子化により老人介護が困難になる中、国が取り組みを始めたのは2013年からです。行政の枠組み作りや介護者の育成、民間事業の在り方など、スタートして日も浅く、介護先進国日本から多くを吸収したいという意欲にあふれた視察になりました。



26日には市長を表敬訪問し、関係者の居並ぶ中で多くの質問がなされました。現在、中国では健康寿命という概念が無く、今後の方向性としての気づきになったようです。質問は多岐にわたり、三島市では介護施設は足りているのか、施設の入所条件や経済面、介護者の募集方法や給与面、また育成状況などなど時間いっぱい質問がなされました。そして、表敬訪問の最後は「今後も交流を継続したい」との熊団長の言葉で結ばれました。



その後、各国からの視察が相次ぐ三島市川原ヶ谷にある介護付有料老人ホーム「サンリッチ三島」を訪問し、代表者の福家英也氏自らの案内で建物内を視察しました。ベッドやトイレなど随所に最新技術を導入した施設内の設備を目にし、具体的に室内の広さや備品をメジャーで図ることもできました。建物視察後の懇談では、代表の福家氏とより踏み込んだ話をする機会が設けられたのも大きな収穫でした。



質疑の後は、入所者と同じメニューの昼食をいただき、福家氏や案内の職員の方々に感謝しつつ、和やかなうちに訪問視察をしめくることができました。



団長	熊 佩飛	中国人民政治協商会議 麗水市委員会提案委員会主任
副団長	趙 麗群	麗水市発展・改革委員会副主任
	張 棟	麗水市財政局副局長
	陳 茂銓	麗水職業技術学院學術委員会常務副主任(教授)
	王 徳洪	麗水職業技術学院養老護理専攻教授
	俞 林偉	麗水市紫金老年公寓有限公司総経理
	叶 麗蔚	麗水市紫金老年公寓有限公司副総経理
	陸 家斌	百齡幫(重慶)康養産業集團有限公司董事長
通訳	平野一恵	静岡県日中友好協議会常務理事





令和元年度

# 夏期語学講座

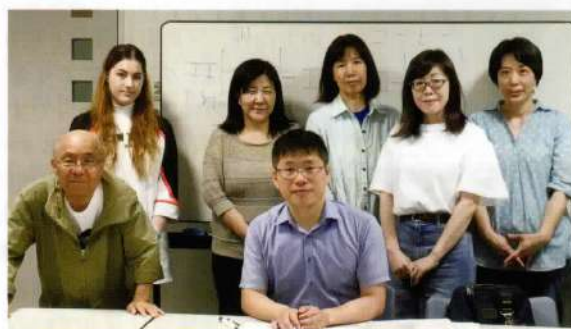
今年も人気の夏期語学講座が7・8月に開催されました。ネイティブ講師による全12回午後7時より8時半までの夏期集中講座です。スペイン語・中国語・韓国語の3講座が開かれ、老若男女がアットホームな雰囲気の中で共に学びました。親しみやすく分かりやすい授業に定評があるこの講座では、語学を楽しみながら学ぶことができます。



スペイン語 ハラ ケイラ先生（手前）



中国語 チョウ マンエイ 張 万英先生（前列左）



韓国語 シン チャンヒョン 申 昌鉉先生（前列中央）



## パサディナ派遣研修生報告

今回の研修で、アメリカの文化や生活を実際に体験することができ、多くのことに感動しました。

まずは、土地や物の大きさに驚きました。家も道路も日本の2倍以上、走っている乗用車も大きく、トラックなどは恐怖を感じるほどでした。ホームステイ先は、家も広く、庭やプールが充実していました。次に、インターネットが生活の一部として日本よりも活用されていることに驚きました。クレジットカード決済の浸透や、色々なアプリを使って生活を楽しんだりしていて、新技術を生活に取り入れることに積極的であると思いました。3つ目の驚きは、日本のお店や商品が想像以上に多く存在していたことです。日本食、和菓子、和菓子の店も多く、日本車の数も走っている車の3分の2くらいあるのではないのでしょうか。家庭の電化製品も8割ほどは日本の会社の製品であるように感じました。

そして何よりも嬉しかったことは、現地の方々の優しさです。4か所の家庭に滞在させていただきましたが、どの家庭も優しく、私のつたない英語にゆっくり

耳を傾けてくださいました。行きたいところにどこにでも連れて行くよと声をかけていただき、とても充実した日々を過ごすことができました。三島市や、お土産で持っていた三嶋暦のお話にも興味を示してくださり、アメリカのことについてもたくさん教えてもらいました。パサディナは、日本のお店や日系アメリカ人の方々が周りにたくさんいるため、日本人にとって大変住みやすい街であると感じました。

これらのことは、実際に滞在することができたからこそ学ぶことができた貴重な体験でした。文化や価値観を自分の目で見て聞いて学び、驚きの連続である新鮮な日々を過ごすことができました。今回の研修で得た学びや感じたことを、三島市や今後の私の人生の中で広く生かし、人と人、人と街の懸け橋になれるような人間に成長していきたいです。研修の機会を与えていただき本当にありがとうございました。

（報告書より）



日本大学  
国際関係学部4年  
芦江明日香さん



# YUKATAで PARADE農兵節

三島商工会議所青年部

8月17日(土)、三嶋大祭りの農兵節パレードに、三島市や近隣の地域にお住まいの外国人の方々が浴衣で参加されました。農兵節パレード当

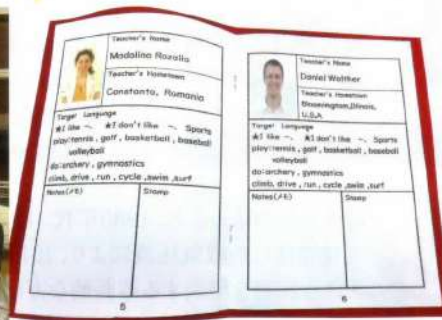


日、浴衣を着付け、農兵節の練習をして、パレードに参加しました。和気あいあいとした雰囲気の中パレードが無事進み、参加者からは「It was fun!」と笑顔がこぼれていました。浴衣は全て三島市民の方から頂いた物で、パレード後は着用された方に贈呈されました。夜は懇親会も行われ、交流を深めることができました。



箱根の里でALTと英語で  
たのしく学んだよ!

## みしまイングリッシュ・キャンプ開催



三島市教育委員会では、8月8日、箱根の里において、みしまイングリッシュ・キャンプ～Fun! Fun! English～を開催しました。これは、子ども達が英語に親しむ機会を多くつくることで、英語と外国のことに興味を持ってもらおうという目的でおこなわれているものです。

市内の小学校から、5、6年生約40人が参加して、ALT（外国語指導助手）の指導のもと、スポーツの名前、日常よく使う言葉などを、ゲームをしながら英語で勉強しました。それぞれがパスポートを持ち、4つの教室でゲームをクリアするたびにスタンプやシールを集め楽しく学びました。子ども達は皆いきいきとゲームに参加し、「おもしろかった」「また参加したい」と声を弾ませながら感想を語っていました。







令和  
元年度

## 「中国浙江省麗水学院附属高級中学交流事業」



### 「麗水学院附属高級中学と静岡県立三島南高等学校との教育を通じた友好交流に関する覚書」調印式

令和元年7月23日(火)三島南高校にて、「中国浙江省麗水学院附属高級中学交流事業」及び「教育を通じた友好交流に関する覚書」調印式が行われました。三島南高校は平成30年度、創立100周年を迎え、これを機会に海外の高校と姉妹校交流してはどうかとの提案で姉妹校を探していたところ、静岡県・浙江省友好提携35周年記念式典に参列した南高職員が浙江省教育庁外事処長と知り合い、相手校を紹介して頂いて交流に至りました。昨年12月22日～26日に南高生が麗水市を訪れ、今回、麗水学院生15名、丁閩方校長、毛春婉先生、朱麗先生、通訳の李虹さんが三島市を訪れました。



(左から) 長岡事務長、高嶋教頭、伊藤副校長、小川校長、丁校長、毛先生、朱先生、李虹さん

午前中に三島市長へ表敬訪問を行い、南高校へ移動した後、南高生と共におにぎり作りや、南高生が考えたゲーム、ステンシルアートを体験し、弓道など日本の部活動を見学して、ホームステイ先のご家庭へ。その後、南高校応接室にて小川校長、丁校長による調印式が行われました。「今後は、ICTなどを活用しながら交流方法を模索し、両校の生徒や教師の交流を深めていきたい」と両校長は、固い握手を交わしました。

## James Molloy - MIRA Newsletter #21

### JIMのみしまものがたり②

#### かわせみと新幹線

源兵衛川を水の苑緑地に向かって歩いていくと、写真家たちが大きなズームレンズを携えて三島市の鳥・かわせみを写真に収めようとしている姿に出くわすかもしれません。とがったくちばしに翡翠のような羽色、鮮やかなオレンジ色の腹部は本当に美しく、写真映えます。ご存知でしたか？実はこのかわせみが、三島が静かで平和であることにひと役買っていることを・・・。



時をさかのぼること、1980年代。時速350kmの試運転を始めた新幹線は、高速でトンネルに突入すると大きな抵抗の変化で生じた微気圧波により、出口周辺で大きな音がしていました。いわゆる『トンネルドン』と呼ばれる現象で、この大きな問題を解決する革新的な方法が求められていました。

そんなとき新幹線の開発者であり、バードウォッチャーでもあった仲津英治氏は、かわせみが水中に飛び込む時ほとんど水しぶきをあげないことに気づきました。理由を探り、妙技のカギはかわせみのくちばしにあることがわかりました。水に潜る時の抵抗を減らすため、かわせみのくちばしは長く鋭い四角錐の形をしているのです。

これを応用し、かわせみのくちばしの形状に似せた、より静かな次世代新幹線が誕生しました。



500系新幹線の先頭を長さ15mの流線形、そして断面をほぼ円にすることで、走行抵抗が30%、消費電力が15%減る一方、スピードは10%増え、よりなめらかで快適な乗り心地を実現したのです。

今度みなさんが新幹線に乗り、コーヒーを片手にゆったりと心地よく座っているとき、仲津氏とかわせみのことを思い出すかもしれません。この二者のおかげで、さらに効率的でくつろいだ旅を楽しむことに感謝したいですね。



# JICA青年海外協力隊 出発前市長表敬訪問



左から、豊岡市長、友野さん、柳下さん、平出MIRA会長

JICA青年海外協力隊として、三島市から派遣される柳下笑子さんと友野拓真さんが、7月8日(月)午前10時半、市役所に豊岡武市市長を表敬訪問しました。柳下さんは、ケニア共和国に派遣され障害児・者支援を、友野さんはサモア独立国に派遣され理科教育を行います。二人は青年海外協力隊に参加したいきさつや今後の抱負などを決意も新たに語りました。

豊岡市長は二人の志に敬意を表し、見知らぬ異国で、病気にかからぬように、犯罪に巻き込まれぬようにと無事を祈るとともに、現地で二人の活躍を期待しますと言葉をかけました。



柳下 笑子さん

派遣先：ケニア共和国  
2019年7月～2021年3月  
ンジョロ特別支援学校で障害児・者支援を行う予定

高校生の時に青年海外協力隊に興味を持ち、大学で事業の一環としてアジアの発展途上国を訪れ、人の役に立つには自分に力をつけることが必要だと痛感しました。子供にかかわることに興味があったので特別支援学校で経験を積み、その力をケニアの特別支援学校でどのくらい発揮できるか挑戦してみようと思いました。日本でいつもやっていたものと同じような教科や、音楽や体育の授業を現地でやる予定です。子供の良さをたくさん引き出せるような授業をしていきたいです。また現地の先生方と協力して子供たちが輝ける授業を行えるよう取り組み、教育の質の向上を目指したいです。いろんな子供たちに出会って、いい思い出をたくさん作ってきたいので、とても楽しみにしています。



友野 拓真さん

派遣先：サモア独立国  
2019年8月～2021年3月  
イトウ・オ・タネ中高等学校で理科教育を行う予定

高校で理科を教えていましたが、自分の理科教員としての力を試しながら、さらに高め、成長していきたいと思い青年海外協力隊に参加することを決意しました。

現地ではそちらにあるものを工夫して実験道具を作ったりしながら、理科の楽しさを子供たちに伝えていきたいと思います。

また異文化にも興味があるので現地の人々と仲良く交流していこうと思います。自分に何ができるか模索しながら、少しでも人々の力となれるように努力していくつもりです。

前向きに、いろんなことを見たり聞いたり感じたりして、多くのことを吸収しながら学んで来たいと思っているので、今は新しい生活の不安より何が待っているのか楽しみの方が多いです。



近い将来、世界各地から、たくさんの外国人が三島へ観光に訪れることが予想されています。

あなたも「やさしい英語」で、外国人に三島を紹介してみませんか。

NO.  
2

## 歴史 History

7世紀、伊豆半島全体は「伊豆国」といわれた地域で、その国府が三島にありました。人々は農耕生活を送っていました。やがて、三島には三嶋大社が置かれ、門前町として東海道の宿場町として産業・文化が発展し、伊豆の拠点として位置付けられてきました。

In the 7th century, Mishima was the capital of the whole Izu Peninsula, then known as "Izunokuni" (Izu Province). Agriculture was the main industry. After Mishima Taisha Shrine was established, the area around the shrine began to develop. Soon, Mishima prospered as one of the fifty-three post stations along the Tokaido, an important highway connecting Kyoto to Edo (former name of Tokyo). Industries and culture developed and Mishima became a hub of the Izu Peninsula.





## 第56回

### 姉妹都市親善

## 英語スピーチコンテスト

を応援にきませんか

参加者が自作のスピーチを披露します。  
是非応援に来てください。

日時 10月12日(土) 13:00~

場所 三島市民生涯学習センター 3階講義室

内容 中学生の部 および  
高校生・大学生・一般の部の2部門

## 第8回 MIRAふれあい フットサル大会

参加チーム募集!

■日 時: 11月17日(日) 9:00から

■場 所: 南二日町グラウンド  
(三島市南二日町  
22-10)

■申込締切: 10月11日(金)

詳細の問合せ、申込みは、  
三島市国際交流協会 ☎976-1020



三島市-麗水市  
第2回 友好都市親善

## 中国語スピーチ コンテスト

出場者  
募集!

開催日時/場所 2019年 12月8日(日) 13:30~  
三島市民生涯学習センター 3階講義室



◆<sup>あんしゅう</sup>暗誦部門 (三島市在住又は在学の中高校生)  
指定の文章を暗誦してください。

◆スピーチ部門 (大学生以上)  
発表内容は360字以内の自作 (発表済みでも可)  
テーマ: 「自由」



◆麗水市長賞 (両部門通じての最優秀賞)

◆各部門 1位~3位  
審査員特別賞に賞状・記念品、  
審査員奨励賞に賞状

※1~3位、審査員特別賞を除く参加者に参加賞

申込期日/11月7日(木) ※原稿は11月14日(木)必着  
お問合せ・お申込み/三島市国際交流協会 ☎976-1020

## ホストファミリー募集

姉妹都市ニュージーランド・ニュープリマス市から、研修生たちが三島を訪れ、交流と親睦を図ります。交流事業へのホストファミリーを引き受けてくださるご家庭を募集します。

受入人数: 26名程度

(ワイタラ高校生徒及び指導員)

滞在期間: 12月6日(金)~12月7日(土)  
1泊2日

募集家族数: 10世帯程度

(2名以上の受入大歓迎)

申込方法: 10月31日(木)までに、所定の申込  
用紙を国際交流室へ提出

※事前説明会を開催しますのでご参加ください

問合せ: 三島市国際交流協会 ☎976-1020

お詫び / 前号で受講生を募集した日本語の教え方講座は、講師の都合により、今年度は中止となりましたので、ご了承ください。

### 麦畑 (編集後記)

★連日の記録的猛暑、オリンピックは大丈夫かな! (魚)

★今年の花園中生、猛暑に負けない。熱くて、パワフル! (明)

★地球問題、アマゾン森林火災。早急な消火を (山)

★Nature is the greatest teacher. Thank you Kingfisher. (J)

★消費税10%、10月から生活はどうなるのだろう (S)

★東京2020。イングリッシュキャンプで培った英語で活躍! (桜)

★三島に外国人が増えると、地元で国際交流できるね。 (青)